

地域とともに歩む

CS くろかわ

発行：胎内市立黒川小学校コミュニティ・スクール学校運営協議会事務局

令和5年度 第2号 2023.11.13

今年度も黒小クラブ体験道場開催しました！

9月30日（土）は、「黒小クラブ体験道場」を行いました。

令和3年度から、地域と学校が目指す子ども像である「黒川を愛し、思いやりの気持ちを持ち、自分の未来を切り拓く子」の具現化に向けて、クラブ活動を地域とつながる活動として位置付けてきました。

黒川小学校のクラブ活動は年間を通して4～6年生が活動しますが、「黒小クラブ体験道場」では、1～3年生も各クラブ活動に加わって、全学年が一斉にそのクラブの内容を体験します。

各クラブでは、低学年に対して高学年が優しく接したり、逆に作品を完成させた下学年が上学年の手伝いをしたりしながら、講師やボランティアの方との交流を深めました。

「黒小クラブ体験道場」の活動の様子を紹介します。



オープニングセレモニー



進行はPTAの役員が行いました。講師、ボランティアの皆様は総勢29名でした。



胎験クラブ① 縄文人に挑戦



胎験クラブ② アクセサリ作り



昔あそびクラブ



縄文人に挑戦 弓矢体験

ポテトクラブ



ニュースポーツクラブ



キャリアクラブ① 看護師体験



キャリアクラブ② 働く車体験



手品クラブ①



手品クラブ② バルーンアート



総合的な学習の時間

今年度は、学校運営協議会の熟議により、新たに地域に関する学習を総合的な学習の時間に位置付けました。4年生が胎内高原ワイン、5年生が、マコモダケについて学習をしました。「地域の課題を自分事として捉え、その課題解決のために自分たちができることを考え、実践する。」というところまで進めたいところではありますが、学校運営協議会委員の皆様からは「小学生は、まず、地域のもの、人、ことと触れ合い、知ることに重点を置いていこう。」と提案いただき、地域に触れることに重点を置いた活動にしました。

< 4年生 胎内高原ワインについて学ぶ >

4年生は、胎内高原ワインについて学習しました。フルーツパークの方から、ブドウの木の管理やご苦労をお聞きした後、実際に余分な葉を取り除く作業や収穫をしたりしました。

また、ワイナリー見学を行い、胎内高原ワインのおいしさの秘密を知ることができました。



フルーツパークの方からブドウやワインについて教えてもらいました。

9月に収穫体験をしました。



葉っぱ取りの作業を体験しました。
「これだけ広い所を全部やるのは大変だね。」



「ここから下の葉っぱを取り除くよ。」



「思っていたより粒が小さいね！」

ワイン用のブドウですが、食べられると聞き、みんなでおいしくいただきました。甘くて深みのある、初めて食べた味でした。



「房が小さいものは、収穫しなくていいのね？」



ワイナリーを見学しました。
一年以上熟成させてから飲むことを知って、驚いていました。



< 5年生 マコモダケについて学ぶ >

5年生は、鼓岡地域で栽培されているマコモダケの植付けと収穫を行いました。植付けの前には、学校運営協議会委員の方からマコモダケについて話をお聞きしたり、自分たちで植え方や特徴、レシピなどを調べたりしました。

収穫時には、実物を見て大きさに驚いたり、生での味見をしたりしました。

「みずみずしい。」「あま〜い。」「調理したものを食べてみたい!」「えっ? 給食で食べているよ。」「えー本当?」と、会話が聞こえてきました。今まで以上にマコモダケを身近に感じた様子でした。



学校運営協議会委員の方からマコモダケについて教えていただきました。



「足がなかなか抜けない…」

5月に苗を植えました!



「みずみずしくて、あまいね。」



学校の都合で収穫時期が少し遅くなったため食べ応えのある大きさにまで成長していました。



目指す子ども像

「黒川を愛し 思いやりの気持ちをもち



自分の未来を切り拓く子」

目指す姿の具現化に向けて取り組んだ黒小クラブ体験道場でした。そこで、「あいさつ」「粘り強く」「思いやりの気持ちをもつ」の3つについて学校運営協議会委員、講師、ボランティアの皆様から感想等をいただきました。(抜粋)

<あいさつ>

- ・元気があり、とても気持ちが良かったです。
- ・高学年のお姉さんたちがしっかりしていて、あいさつもとても丁寧で嬉しかったです。
- ・学校へ入ってすぐ、皆さんの元気なあいさつが、とても気持ちが良かったです。
- ・玄関でも、廊下でも、元気な声であいさつしてくれました。
- ・もうすこしあいさつできる子が増えるといいと思います。
- ・顔を見ながらあいさつしてくれる子が増えたように思います。

<思いやりの気持ちをもつ>

- ・友だちと順番をゆずり合っていて良かった。
- ・ペアになったり、グループに分かれたりする時もお友だちと相談したりできていました。
- ・整列や集団行動をもう少しできる様になると良いと思いました。
- ・上級生の子が下級生に教えていてほほえましかった。
- ・低学年の子が分からない時、上学年の子が優しく教えていました。
- ・高学年の子どもたちが気遣って作業をしていたので良かったです。
- ・調理の時、それぞれ仕事を分け合い、出来る事を割り当てて計画をしていて良く考えていると思いました。
- ・小さな子には、危なくない作業をしてもらい、力のいる時は大きな子が積極的に役割を担っていました。
- ・皆が協力して調理ができるよう、声をかけていた姿が立派でした。
- ・友達の風と糸が絡まって困っていた時にほどいてあげていた。
- ・アイデアが考えつかない子がいたら、「〇〇は?」「〇〇したら」などと、話をしていた。
- ・なかなかうまくいかない友達や、下級生に声をかける姿が見られました。

< 粘り強く考え、行動する >

- ・最後まで、自分の力だけで作りあげている子どもたちが何人もいました。
- ・運動が中心だった為、考える事よりも先に体を動かす方が得意な子どもたちが多かったと感じました。
- ・話をよく聞いてくれ、意欲的にやってくれ嬉しく思いました。
- ・調理の手順をよく覚えていて、一生懸命に作業をしていました。
- ・固いイモを扱う時は、コツを指導するとよく見て、包丁を使うようになっていた。
- ・難しくても、あきらめずに最後までやりきっていました。
- ・できないことを講師に聞くなど、積極的な所が見られた。
- ・調理中、手があいたら、自分ができるところを考え、進んで皿洗いなどしてくれていました。
- ・特に高学年が臨機応変に考え、低学年に声をかけていました。
- ・たこ作りの細かい作業をていねいに行い、自分が納得するまでしていた。友だちが分からない時は、教えてあげたり、作ってあげたりしていた。
- ・火起こし、最後まで諦めずに頑張る姿がみられました。

黒小クラブ体験道場だけでなく、普段のクラブ活動でも講師の皆様から多大なご協力をいただき、子どもたちにとって大変有意義な活動ができています。

総合的な学習の時間では、他の学年でも様々な面からご協力をいただいております。感謝しております。来年度も皆様からのお力をお借りし、学校の教育活動を充実したものにしていきたいと考えています。

今後ともご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

>> 胎内市立黒川小学校創立 10 周年記念祝賀会開催 << ～ 9 月 30 日（土）ロイヤル胎内パークホテルにて～

9 月 30 日（土）にロイヤル胎内パークホテルにて創立 10 周年記念祝賀会を開催しました。

胎内市長 井畑 明彦様、胎内市教育長 中澤 毅様、小学校区にお住いの市議会議員の皆様にも出席いただきました。旧大長谷小、旧鼓岡小、旧黒川小、それぞれ 3 校の懐かしい写真等を見ながら、思い出やこれからの黒川小の発展を語り合う大変有意義な会となりました。

ありがとうございました。

